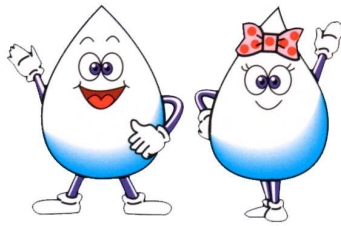


平成 24 年度決算の概要



平成 25 年 12 月
阪神水道企業団

目 次

I. 概況

II. 業務の実績

III. 収支の状況

IV. 対財政計画・予算比較

V. 対前年度決算比較

I. 概況

◆総括

- 「安全な水の安定供給の持続」という基本理念のもと、効率的な事業運営を行うとともに、施設の適切な維持管理に基づき経年劣化した管路や設備機器の更新・取替を実施し、安全で良質な水の安定供給に努めました。
- 財政面においては、多額の累積欠損金を有する状況が続いていますが、保有地の活用による収益確保や支払利息等の経費削減策を継続的に実施し、収支改善に努めました。その結果、当年度は収益的収支において純利益を計上することとなりました。

◆水源・水質、給水実績

- 琵琶湖流域の降雨量は、1,792mmで平年比105%となり、琵琶湖水位の平均値は-11cm（最高値24cm、最低値-38cm）で過去5年平均値（-17cm）に比べ高い傾向となりました。
- 水質状況については、7月15日と8月14日の淀川上流部における集中豪雨に伴い、原水濁度が1,000度を超過しました。また、夏期に琵琶湖の南湖（山田港沖）及び淀川本川においてかび臭原因物質（ジェオスミン等）が若干検出されましたが、概ね安定した水質状況でした。
- 年間実績給水量は274,944,020 m³となり、1日最大給水量は839,920 m³、最大稼働率は74.5%となりました。

◆収支の状況

- 収益的収支は53,355千円の純利益を計上しました。前年度に比べて、収入は補助金の減等により253,570千円減少し、支出は特別損失の減等により4,809,755千円減少しました。この結果、当年度末の累積欠損金は19,522,552千円となりました。
- 資本的収支は8,716,671千円の不足となり、前年度に比べて、不足額は868,239千円増加しました。収入は企業債の増等により440,708千円増加し、支出は水道改良費や企業債償還金の増等により1,308,947千円増加しました。
- 資本的収支不足額について損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では331,890千円の資金減となり、当年度末の資金残額は4,430,130千円となりました。

Ⅱ. 業務の実績

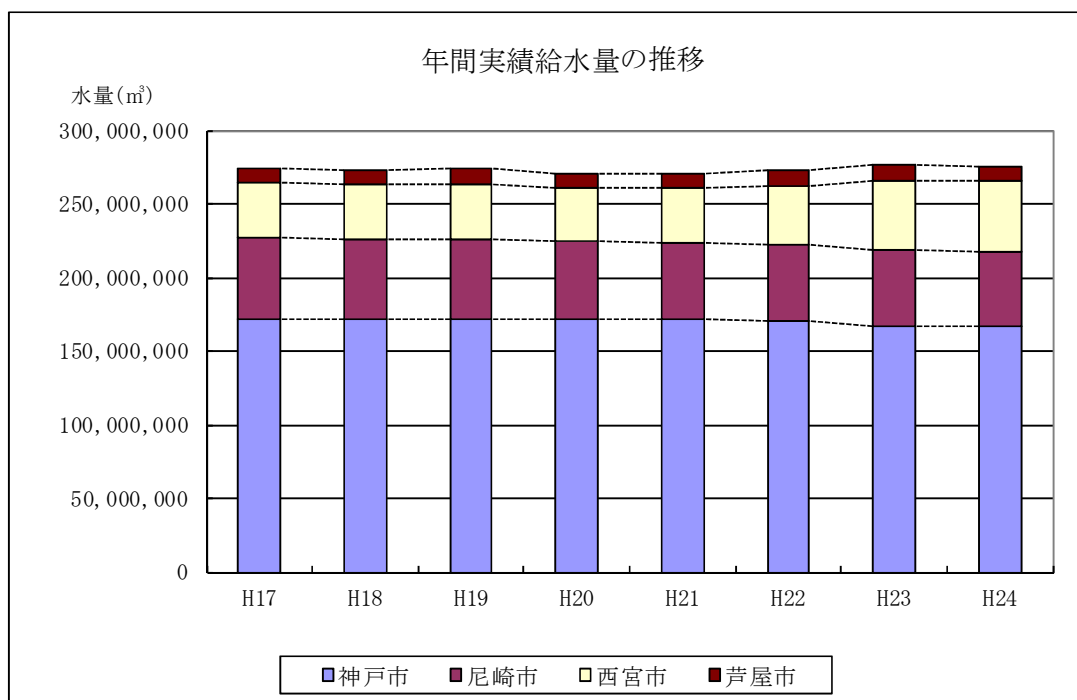
◆ 計画給水量と実績給水量

- 実績給水量は 274,944,020 m³で、前年度と比べて 962,820 m³減少しました。
- 計画給水量（分賦基本水量）288,204,730 m³に対する実績率は 95.4%で、前年度に比べて 0.1 ポイント減少しました。

○ 年間実績給水量の推移

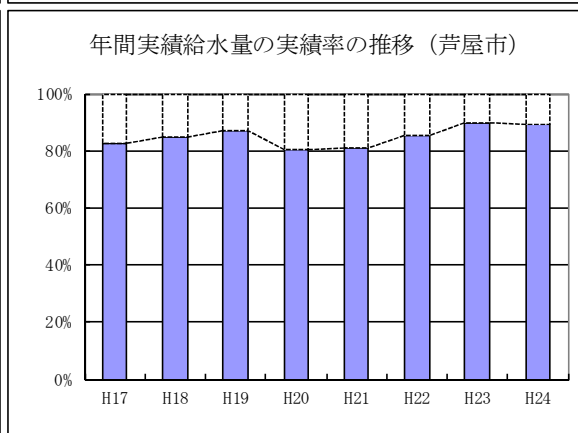
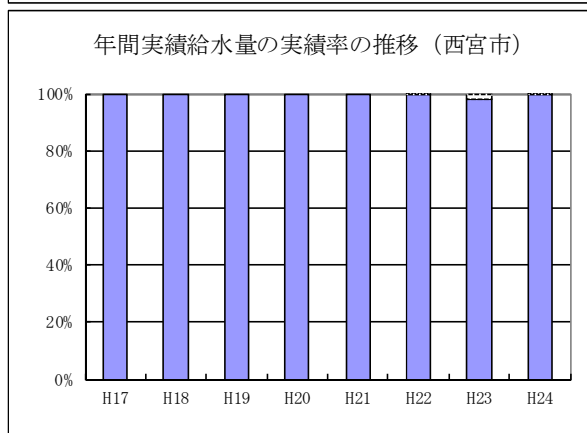
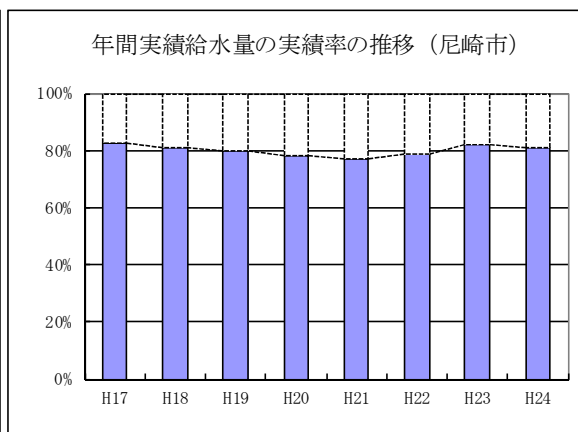
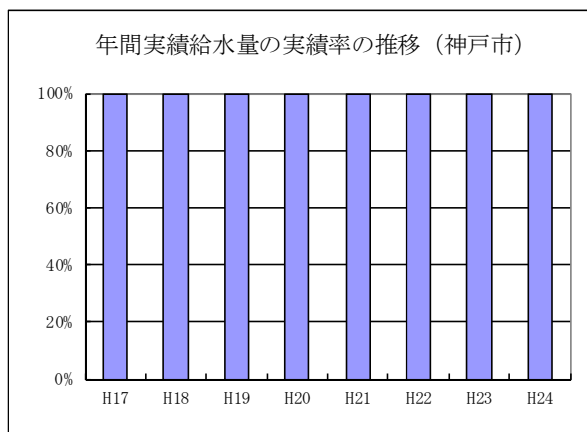
(単位 m³)

	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	計	
H24分賦基本水量	166,938,955	62,246,005	48,162,845	10,856,925	288,204,730	
年間実績給水量	H17	171,793,410	55,915,700	36,346,930	10,122,670	274,178,710
	H18	171,793,360	54,701,800	36,343,700	10,367,000	273,205,860
	H19	172,264,080	54,228,000	36,446,300	10,674,180	273,612,560
	H20	171,793,390	52,965,000	36,348,110	9,811,450	270,917,950
	H21	171,793,380	52,252,600	36,353,170	9,878,820	270,277,970
	H22	170,260,370	52,020,800	40,128,050	10,041,700	272,450,920
	H23	167,396,260	51,215,700	47,491,790	9,803,090	275,906,840
	H24	166,938,900	50,242,800	48,074,310	9,688,010	274,944,020



○ 年間実績給水量の実績率（対計画給水量）の推移

	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	全体
H17	100.0%	82.4%	100.0%	82.7%	95.1%
H18	100.0%	80.7%	100.0%	84.7%	94.8%
H19	100.0%	79.7%	100.0%	87.0%	94.7%
H20	100.0%	78.1%	100.0%	80.2%	94.0%
H21	100.0%	77.0%	100.0%	80.7%	93.8%
H22	100.0%	78.8%	99.9%	85.3%	94.5%
H23	100.0%	82.1%	98.3%	90.0%	95.5%
H24	100.0%	80.7%	99.8%	89.2%	95.4%

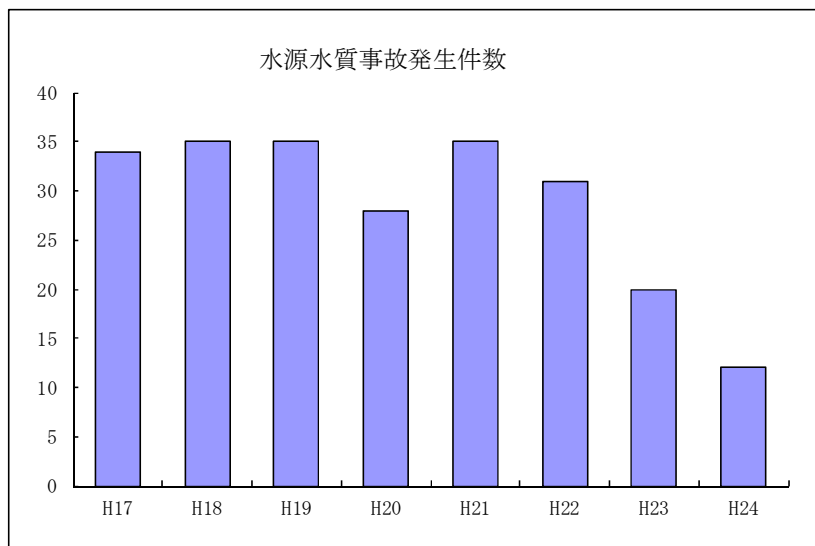


◆水源水質の状況（事故の発生状況）

- 淀川水質協議会を通じて把握した淀川水系における水源水質事故の発生件数は12件で、その約75%が油の流下によるものでした。なお、企業団において対応を要した油流下事故はありませんでした。

○淀川水系における水源水質事故発生件数の推移

年度	発生件数
H17	34
H18	35
H19	35
H20	28
H21	35
H22	31
H23	20
H24	12



Ⅲ. 収支の状況

◆収益的収入の状況

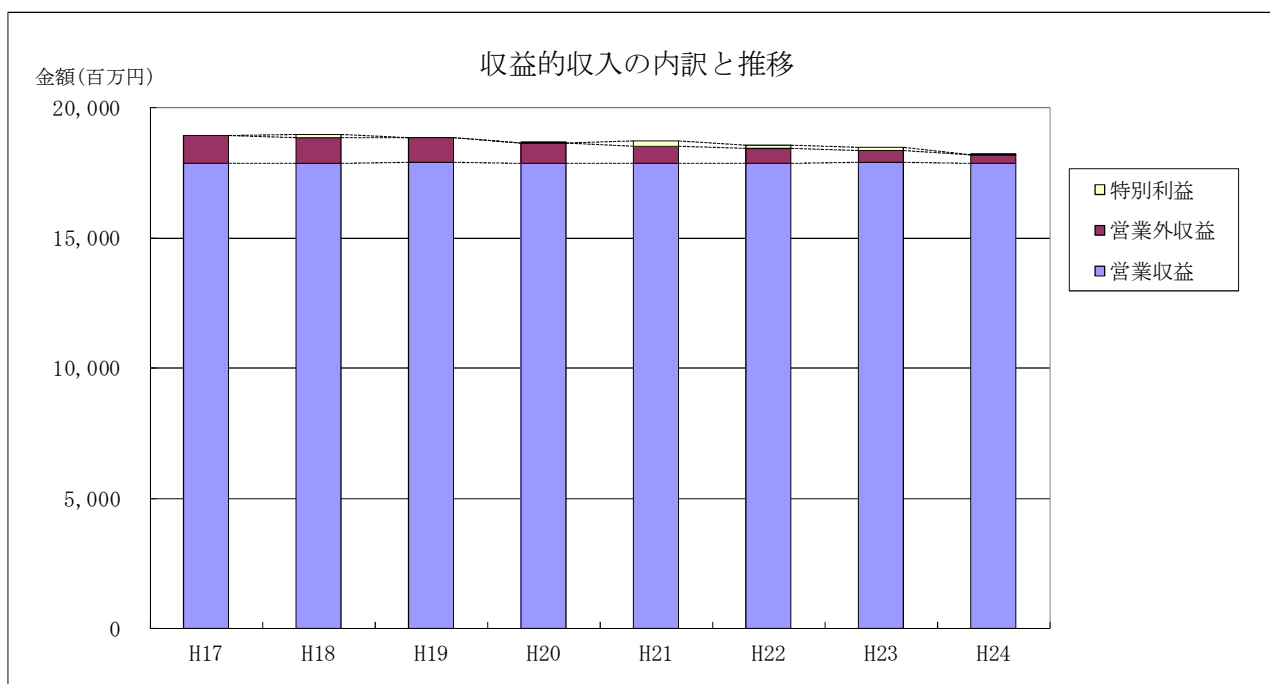
- 収益的収入は18,214,348千円で、前年度に比べて253,570千円減少しました。
- 補助金は、支払利息等に対する補助金の減少により、前年度に比べて104,454千円減少しました。
- 特別利益は、固定資産売却益の減等により、前年度に比べて86,640千円減少しました。

[財政計画比△15,326千円、予算比△15,326千円（収益的収入税抜額）]

○収益的収入の内訳と推移（税抜）

(単位 千円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
1. 水道事業収益	18,921,959	18,984,450	18,848,450	18,664,076	18,723,275	18,582,025	18,467,918	18,214,348
1. 営業収益	17,861,909	17,865,975	17,909,107	17,861,819	17,864,552	17,888,203	17,924,053	17,866,201
1. 分賦金	17,857,165	17,857,165	17,906,089	17,857,165	17,857,165	17,857,165	17,906,089	17,857,165
2. 受託工事収益	0	2,857	0	1,635	4,520	27,323	9,185	0
3. その他の営業収益	4,744	5,953	3,018	3,019	2,867	3,715	8,779	9,036
2. 営業外収益	1,060,050	987,679	939,343	794,041	656,070	558,780	457,180	348,102
1. 受取利息	3,513	19,577	53,918	37,611	9,949	4,429	3,404	6,060
2. 補助金	942,542	843,593	759,751	604,628	489,809	395,822	298,276	193,822
3. 雑収益	113,995	124,509	125,674	151,802	156,312	158,529	155,500	148,220
3. 特別利益	0	130,796	0	8,216	202,653	135,042	86,685	45



◆収益的支出の状況

- 収益的支出は18,160,993千円で、前年度に比べて4,809,755千円減少しました。これは、前年度において特別損失を計上していたことによるものです。
- 高金利企業債及び割賦負担金の繰上償還により支払利息が前年度に比べて減少した一方、動力費、施設管理費、物件費等が増加しました。
- また、委託費から諸費への見直しをはじめとした科目の適正化※を行いました。

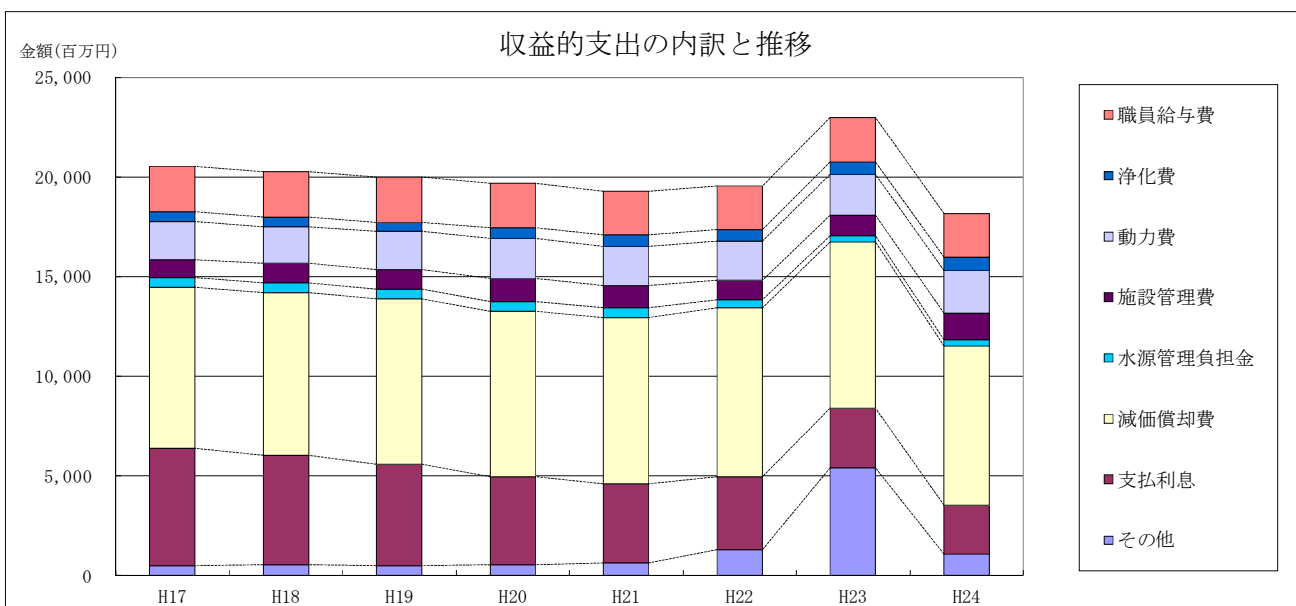
[財政計画比△364,857千円、予算比△329,268千円（収益的支出税抜額）]

○収益的支出の内訳と推移（税抜）

(単位 千円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
1. 水道事業費用	20,519,604	20,260,058	19,984,020	19,669,941	19,291,612	19,557,403	22,970,748	18,160,993
1. 営業費用	14,645,378	14,786,036	14,877,516	15,240,134	15,323,984	15,332,756	15,241,573	15,735,082
1. 職員給与費	2,282,124	2,281,625	2,286,073	2,210,372	2,200,643	2,205,398	2,219,575	2,191,860
2. 浄化費	498,246	475,791	450,036	533,131	589,920	597,727	640,804	681,897
3. 動力費	1,879,124	1,858,971	1,916,042	2,045,669	1,934,356	1,924,372	2,021,068	2,135,120
4. 施設管理費	933,910	944,392	946,667	1,129,926	1,149,204	981,303	1,044,630	※1,317,134
5. 委託費	159,063	134,661	176,505	212,314	211,931	289,293	278,989	※ 0
6. 受託工事費	0	2,857	0	1,635	4,520	27,323	9,185	0
7. 物件費	83,760	86,266	88,793	87,276	87,760	87,341	89,131	250,962
8. 諸費	194,699	195,359	186,725	187,491	175,210	208,286	197,737	※ 700,510
9. 水源管理負担金	486,512	495,236	491,096	495,092	476,735	412,512	322,462	311,085
10. 減価償却費	8,055,900	8,168,331	8,303,102	8,289,313	8,344,558	8,496,105	8,347,568	8,013,261
11. 資産減耗費	72,040	142,547	32,477	47,915	149,147	103,096	70,422	133,253
2. 営業外費用	5,874,226	5,474,022	5,104,994	4,429,807	3,967,628	3,617,656	2,950,558	2,425,911
1. 企業債利息	4,140,421	3,896,253	3,673,556	3,196,642	2,970,405	2,844,527	2,337,195	2,008,379
2. 割賦負担金利息	1,733,193	1,574,294	1,430,909	1,230,098	995,953	770,131	611,806	414,171
3. 雑支出	612	3,475	529	3,067	1,270	2,998	1,557	3,361
3. 特別損失	0	0	1,510	0	0	606,991	4,778,617	0

※科目適正化の主な内容：委託費→諸費411,361千円、施設管理費→諸費88,132千円



◆給水原価の状況

- 給水原価は63.01円で、前年度に比べて0.09円増加しました。減価償却費、支払利息等は減少しましたが、動力費、施設管理費及び科目適正化により諸費等が増加しました。
- 企業債及び割賦負担金の繰上償還の効果もあり、支払利息は年々減少しています。

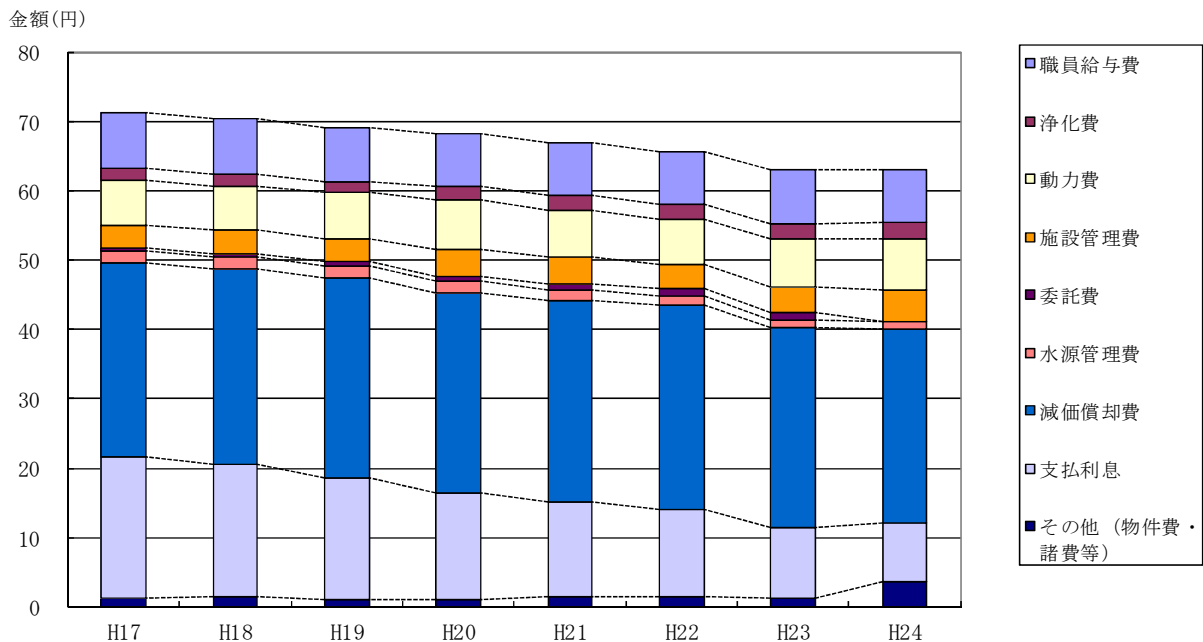
※給水原価（円／m³）＝（営業費用＋営業外費用－受託工事費－不用品売却原価）／分賦基本水量

○給水原価の構成と推移

（単位 円／m³）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
職員給与費	7.92	7.92	7.91	7.67	7.64	7.63	7.68	7.61
浄化費	1.73	1.65	1.56	1.85	2.05	2.07	2.22	2.37
動力費	6.52	6.45	6.63	7.10	6.71	6.66	6.99	7.41
施設管理費	3.24	3.28	3.28	3.92	3.99	3.40	3.61	4.57
委託費	0.55	0.47	0.61	0.74	0.74	1.00	0.97	—
水源管理費	1.69	1.72	1.70	1.72	1.65	1.43	1.12	1.08
減価償却費	27.95	28.34	28.73	28.76	28.95	29.40	28.88	27.80
支払利息	20.38	18.98	17.66	15.36	13.76	12.51	10.20	8.41
その他（物件費・諸費等）	1.22	1.48	1.06	1.12	1.43	1.56	1.25	3.76
給水原価	71.20	70.29	69.14	68.24	66.92	65.66	62.92	63.01

給水原価の推移



◆純損益と累積損益の状況

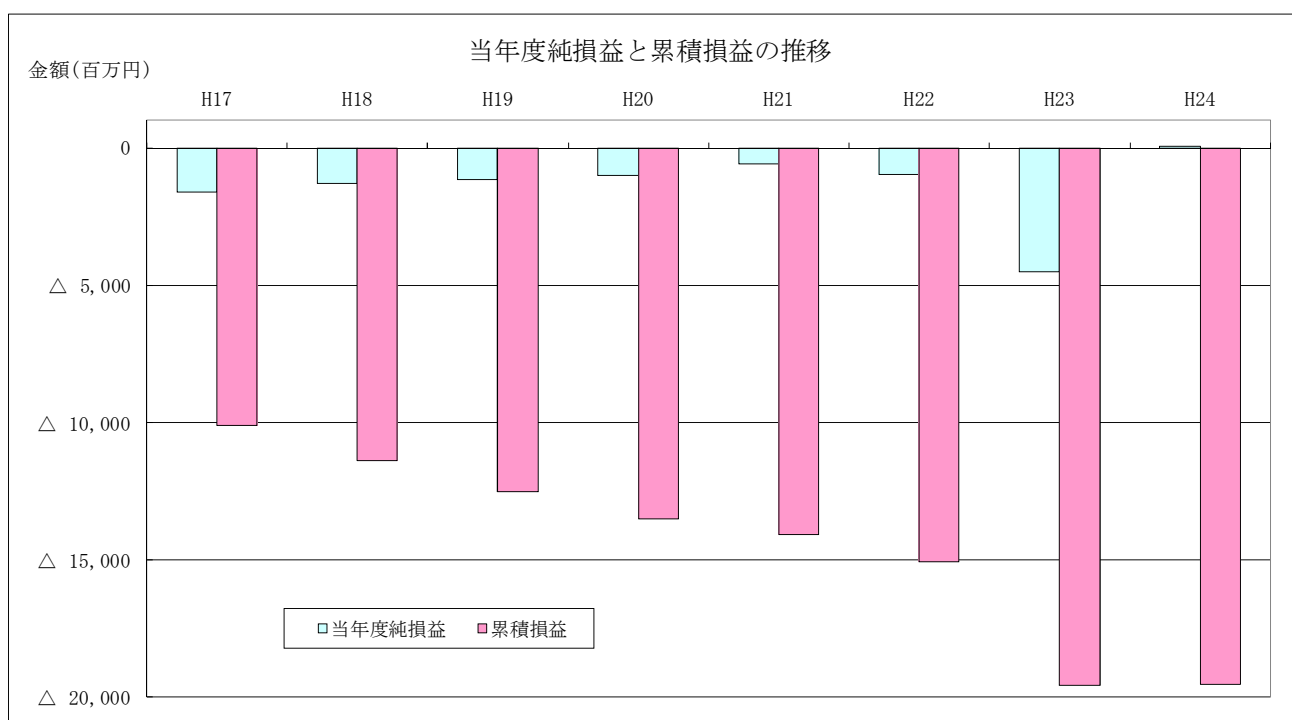
- 第5期拡張事業で整備した施設の稼働に伴う減価償却費や支払利息の増加によりこれまで毎年度純損失を計上してきましたが、繰上償還等の経営改善施策の効果もあり、当年度においては53,355千円の純利益を計上しました。
- この結果、当年度末における累積欠損金は19,522,552千円となりました。

[財政計画比+349,531千円、予算比+313,942千円（当年度純損益）]

○当年度純損益と累積損益の推移

(単位 千円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
当年度純損益	△ 1,597,645	△ 1,275,608	△ 1,135,570	△ 1,005,865	△ 568,337	△ 975,378	△ 4,502,830	53,355
累積損益	△ 10,112,318	△ 11,387,927	△ 12,523,497	△ 13,529,362	△ 14,097,699	△ 15,073,077	△ 19,575,907	△ 19,522,552



◆資本的収支と資金収支の状況

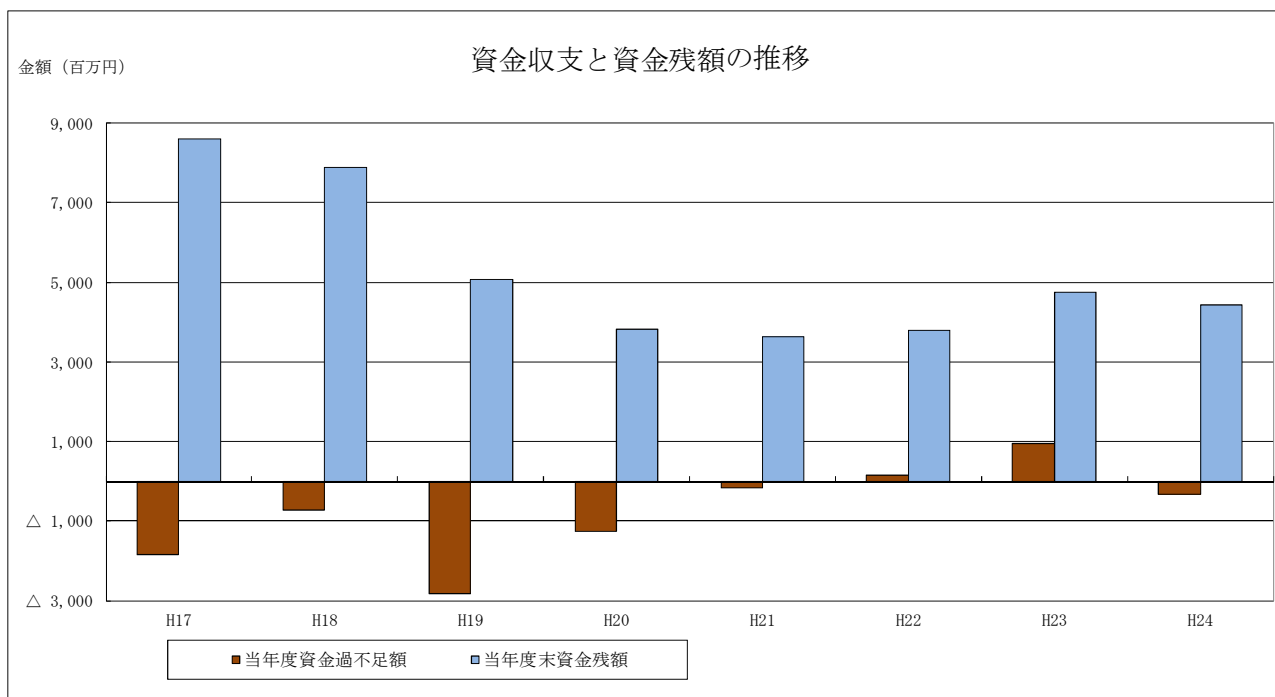
- 資本的収入は 6,388,873 千円で、企業債や工事負担金の増等により、前年度に比べて 440,708 千円増加しました。
- 資本的支出は 15,105,544 千円で、水道改良費や企業債償還金の増等により、前年度に比べて 1,308,947 千円増加しました。
- 資本的収支は 8,716,671 千円の不足となり、これを損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では 331,890 千円の資金減となり、当年度末の資金残額は 4,430,130 千円となりました。

[財政計画比+1,243,840 千円、予算比+918,884 千円 (当年度末資金残額)]

○資金収支と資金残額の推移

(単位 千円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
前年度末資金残額	10,442,589	8,608,680	7,889,308	5,071,281	3,812,279	3,636,193	3,802,300	4,762,020
当年度資金過不足額	△ 1,833,909	△ 719,372	△ 2,818,027	△ 1,259,002	△ 176,086	166,107	959,720	△ 331,890
当年度末資金残額	8,608,680	7,889,308	5,071,281	3,812,279	3,636,193	3,802,300	4,762,020	4,430,130



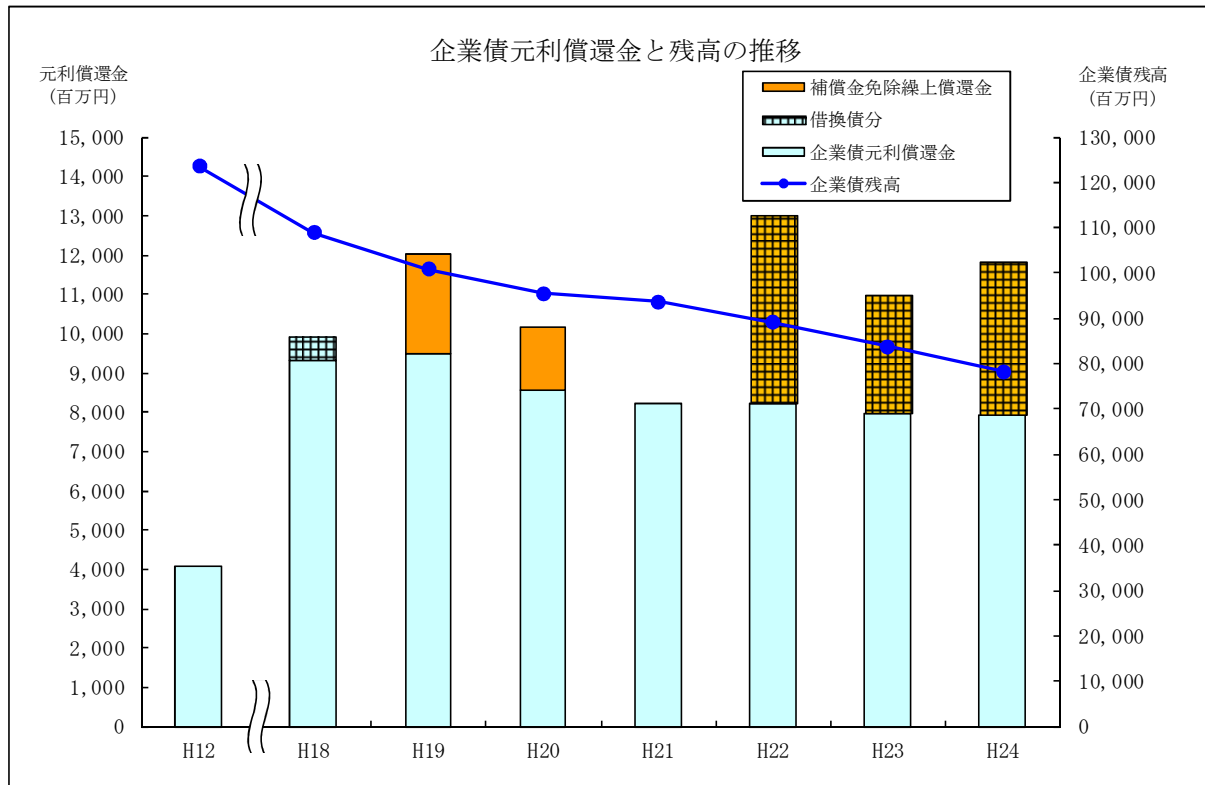
◆企業債の状況（償還額・残高の推移）

- 企業債元利償還金は11,849,243千円で、前年度に比べて848,371千円増加しました。
- 公的資金補償金免除繰上償還を行い将来の支払利息の削減を図りました。なお、保有資金の状況を勘案し、繰上償還の財源として借換債を発行しました。
- 当年度末の企業債残高は78,343,852千円で、前年度に比べて5,410,864千円減少し、ピーク時（平成12年度）の63%の水準まで低下しました。

○企業債元利償還金と残高の推移

（単位 百万円）

	H12	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
企業債元利償還金	4,085	9,895	12,019	10,177	8,212	13,034	11,001	11,849
年度末残高	123,535	108,888	100,812	95,529	93,708	89,045	83,755	78,344



（注）元利償還金には、借換債分（H18：572百万円）及び公的資金補償金免除繰上償還（H19：2,545百万円、H20：1,622百万円、H22：4,812百万円、H23：3,022百万円、H24：3,920百万円）を含む。

なお、財源として借換債（H22：4,804百万円、H23：3,018百万円、H24：3,913百万円）を発行した。

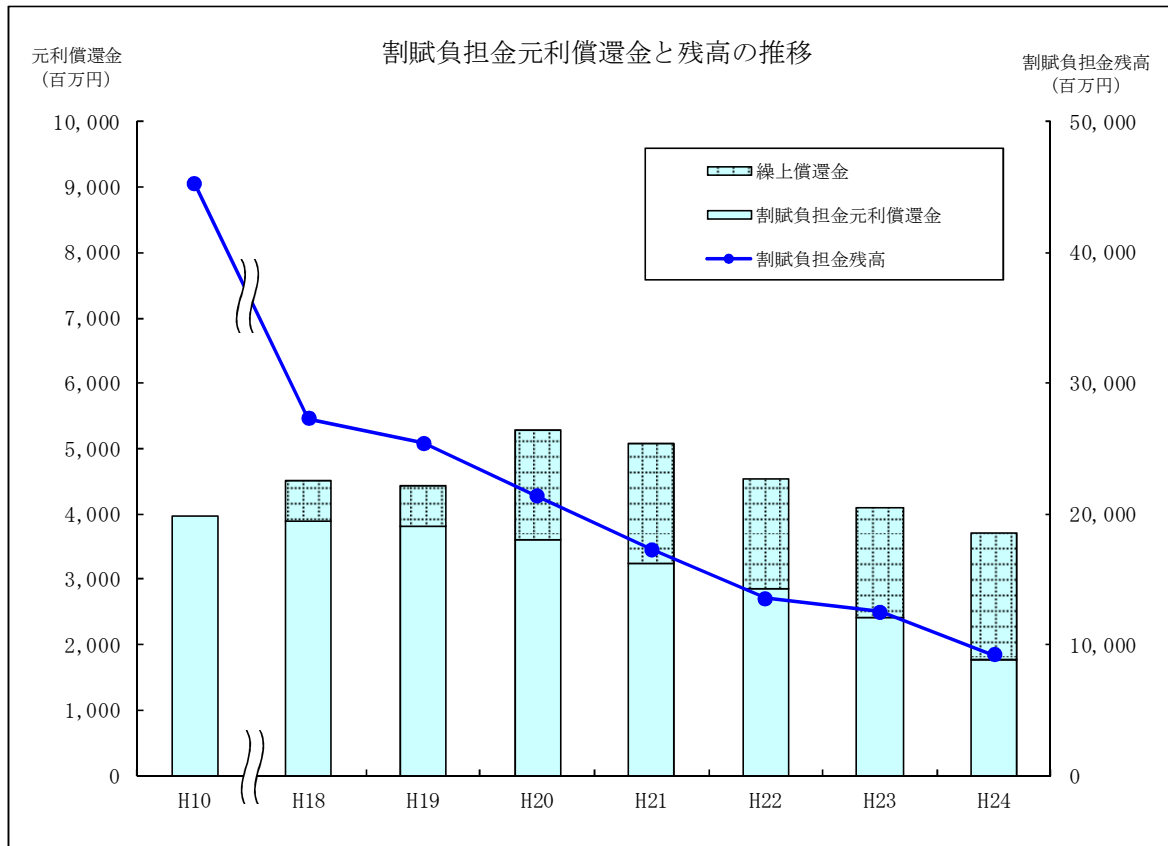
◆割賦負担金の状況（償還額・残高の推移）

- 割賦負担元利償還金は3,704,385千円で、前年度に比べて402,333千円減少しました。
- 琵琶湖開発事業割賦負担金の繰上償還を行い将来の支払利息の削減を図りました。
- 当年度末の割賦負担金残高は9,191,063千円で、前年度に比べて3,290,213千円減少し、ピーク時（平成10年度）の20%の水準まで低下しました。

○割賦負担金元利償還金と残高の推移

（単位 百万円）

	H10	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
割賦負担金元利償還金	3,964	4,501	4,429	5,291	5,072	4,536	4,107	3,704
琵琶湖開発事業	3,324	3,845	3,750	4,611	4,391	3,854	3,373	2,932
日吉ダム建設事業	640	656	679	680	681	682	682	719
丹生ダム建設事業							52	53
年度末残高（税込み）	45,241	27,272	25,429	21,368	17,292	13,526	12,481	9,191
琵琶湖開発事業	34,400	20,174	17,560	13,901	10,242	6,911	3,869	1,085
日吉ダム建設事業	10,841	7,098	7,869	7,467	7,050	6,615	6,162	5,656
丹生ダム建設事業							2,450	2,450



（注）割賦負担金元利償還金には、琵琶湖開発事業割賦負担金繰上償還金を含む。

（H18：618百万円、H19：618百万円、H20：1,684百万円、H21：1,813百万円、H22：1,684百万円、H23：1,684百万円、H24：1,932百万円）

IV. 対財政計画・予算比較

収益的収入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

収支区分	年度	H24				
		財政計画 (科目適正化後) ①	予算額 (前年度繰越+補 正・流用含む) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 水道事業収益		18,229,674	18,229,674	18,214,348	△ 15,326	△ 15,326
1. 営業収益		17,865,793	17,865,793	17,866,201	408	408
1. 分賦金		17,857,163	17,857,163	17,857,165	2	2
2. 受託工事収益		0	0	0	0	0
3. その他の営業収益		8,630	8,630	9,036	406	406
2. 営業外収益		363,880	363,880	348,102	△ 15,778	△ 15,778
1. 受取利息		3,794	3,794	6,060	2,266	2,266
2. 補助金		203,611	203,611	193,822	△ 9,789	△ 9,789
3. 雑収益		156,475	156,475	148,220	△ 8,255	△ 8,255
3. 特別利益		1	1	45	44	44
1. 水道事業費用		18,525,850	18,490,261	18,160,993	△ 364,857	△ 329,268
1. 営業費用		16,040,069	16,039,629	15,735,082	△ 304,987	△ 304,547
1. 職員給与費		2,194,172	2,194,172	2,191,860	△ 2,312	△ 2,312
2. 浄化費		821,849	821,849	681,897	△ 139,952	△ 139,952
3. 動力費		2,216,159	2,216,159	2,135,120	△ 81,039	△ 81,039
4. 施設管理費		1,295,392	1,311,783	1,317,134	21,742	5,351
5. 委託費		0	19,757	0	0	△ 19,757
6. 受託工事費		0	0	0	0	0
7. 物件費		257,254	259,150	250,962	△ 6,292	△ 8,188
8. 諸費		766,059	727,575	700,510	△ 65,549	△ 27,065
9. 水源管理負担金		383,733	383,733	311,085	△ 72,648	△ 72,648
10. 減価償却費		8,031,890	8,031,890	8,013,261	△ 18,629	△ 18,629
11. 資産減耗費		73,561	73,561	133,253	59,692	59,692
2. 営業外費用		2,480,778	2,445,629	2,425,911	△ 54,867	△ 19,718
1. 企業債利息		2,065,211	2,029,622	2,008,379	△ 56,832	△ 21,243
2. 割賦負担金利息		414,172	414,172	414,171	△ 1	△ 1
3. 借入金利息		1	1	0	△ 1	△ 1
4. 雑支出		1,394	1,834	3,361	1,967	1,527
3. 特別損失		3	3	0	△ 3	△ 3
4. 予備費		5,000	5,000	0	△ 5,000	△ 5,000
当年度純利益又は 当年度純損失(△)		△ 296,176	△ 260,587	53,355	349,531	313,942
前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)		△ 20,178,068	△ 19,575,907	△ 19,575,907	602,161	0
当年度純利益 又は純損失(△)		△ 296,176	△ 260,587	53,355	349,531	313,942
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)		△ 20,474,244	△ 19,836,494	△ 19,522,552	951,692	313,942

資本的収入及び支出（税込み）

（単位 千円）

収支区分	年度	H24				
		財政計画 ①	予算額 (前年度繰越+補 正・流用含む) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 資本的収入		5,737,451	6,625,462	6,388,873	651,422	△ 236,589
1. 企業債		4,100,000	4,558,000	4,430,000	330,000	△ 128,000
2. 出資金		1,611,095	1,611,095	1,611,095	0	0
3. 国庫補助金		22,653	56,918	56,918	34,265	0
4. 固定資産売却代金		1	1	0	△ 1	△ 1
5. 工事負担金		1	395,747	281,800	281,799	△ 113,947
6. 基金収入		3,700	3,700	3,319	△ 381	△ 381
7. その他資本収入		1	1	5,741	5,740	5,740
8. 水利還付金		0	0	0	0	0
1. 資本的支出		14,979,037	15,907,007	15,105,544	126,507	△ 801,463
1. 水道改良費(起債・負担金)		315,673	1,228,485	997,500	681,827	△ 230,985
水道改良費(自己資金)		1,538,801	1,538,801	970,201	△ 568,600	△ 568,600
2. 水利負担金		3,290,215	3,290,215	3,290,214	△ 1	△ 1
3. 投資		3,700	3,700	3,319	△ 381	△ 381
4. 企業債償還金		9,825,946	9,841,104	9,840,864	14,918	△ 240
5. 国庫補助金返還金		4,702	4,702	3,446	△ 1,256	△ 1,256
6. 出資金返還金		0	0	0	0	0
資本的収支不足額(△)		△ 9,241,586	△ 9,281,545	△ 8,716,671	524,915	564,874
補てん財源		9,241,586	9,281,545	8,716,671	△ 524,915	△ 564,874
消費税及び地方消費税資本的収支調整額		185,904	185,904	190,395	4,491	4,491
当年度純利益		-	-	53,355	53,355	53,355
損益勘定留保資金等		9,055,682	9,095,641	8,472,921	△ 582,761	△ 622,720
前年度末資金残額		4,432,694	4,762,020	4,762,020	329,326	0
当年度資金過不足(△)額		△ 1,246,404	△ 1,250,774	△ 331,890	914,514	918,884
当年度末資金残額		3,186,290	3,511,246	4,430,130	1,243,840	918,884

V. 対前年度決算比較

収益的収入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

収支区分	年度	H24		
		前年度決算額 ①	決算額 ②	当年度－前年度 ②－①
1. 水道事業収益		18,467,918	18,214,348	△ 253,570
1. 営業収益		17,924,053	17,866,201	△ 57,852
1. 分賦金		17,906,089	17,857,165	△ 48,924
2. 受託工事収益		9,185	0	△ 9,185
3. その他の営業収益		8,779	9,036	257
2. 営業外収益		457,180	348,102	△ 109,078
1. 受取利息		3,404	6,060	2,656
2. 補助金		298,276	193,822	△ 104,454
3. 雑収益		155,500	148,220	△ 7,280
3. 特別利益		86,685	45	△ 86,640
1. 水道事業費用		22,970,748	18,160,993	△ 4,809,755
1. 営業費用		15,241,573	15,735,082	493,509
1. 職員給与費		2,219,575	2,191,860	△ 27,715
2. 浄化費		640,804	681,897	41,093
3. 動力費		2,021,068	2,135,120	114,052
4. 施設管理費		1,044,630	1,317,134	272,504
5. 委託費		278,989	0	△ 278,989
6. 受託工事費		9,185	0	△ 9,185
7. 物件費		89,131	250,962	161,831
8. 諸費		197,737	700,510	502,773
9. 水源管理負担金		322,462	311,085	△ 11,377
10. 減価償却費		8,347,568	8,013,261	△ 334,307
11. 資産減耗費		70,422	133,253	62,831
2. 営業外費用		2,950,558	2,425,911	△ 524,647
1. 企業債利息		2,337,195	2,008,379	△ 328,816
2. 割賦負担金利息		611,806	414,171	△ 197,635
3. 借入金利息		0	0	0
4. 雑支出		1,557	3,361	1,804
3. 特別損失		4,778,617	0	△ 4,778,617
4. 予備費		0	0	0
当年度純利益又は 当年度純損失(△)		△ 4,502,830	53,355	4,556,185

前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 15,073,077	△ 19,575,907	△ 4,502,830
当年度純利益 又は純損失(△)	△ 4,502,830	53,355	4,556,185
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 19,575,907	△ 19,522,552	53,355

資本的収入及び支出（税込み）

（単位 千円）

年度 収支区分	H24		
	前年度決算額 ①	決算額 ②	当年度－前年度 ②－①
1. 資本的収入	5,948,165	6,388,873	440,708
1. 企業債	3,373,000	4,430,000	1,057,000
2. 出資金	1,585,040	1,611,095	26,055
3. 国庫補助金	72,379	56,918	△ 15,461
4. 固定資産売却代金	3,868	0	△ 3,868
5. 工事負担金	0	281,800	281,800
6. 基金収入	3,334	3,319	△ 15
7. その他資本収入	5,309	5,741	432
8. 水利還付金	905,235	0	△ 905,235
1. 資本的支出	13,796,597	15,105,544	1,308,947
1. 水道改良費(起債・負担金)	574,981	997,500	422,519
水道改良費(自己資金)	446,195	970,201	524,006
2. 水利負担金	3,494,912	3,290,214	△ 204,698
3. 投資	3,334	3,319	△ 15
4. 企業債償還金	8,663,677	9,840,864	1,177,187
5. 国庫補助金返還金	311,782	3,446	△ 308,336
6. 出資金返還金	301,715	0	△ 301,715
資本的収支不足額(△)	△ 7,848,432	△ 8,716,671	△ 868,239
補てん財源	7,848,432	8,716,671	868,239
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	109,676	190,395	80,719
当年度純利益	-	53,355	53,355
損益勘定留保資金等	7,738,756	8,472,921	734,165
前年度末資金残額	3,802,300	4,762,020	959,720
当年度資金過不足(△)額	959,720	△ 331,890	△ 1,291,610
当年度末資金残額	4,762,020	4,430,130	△ 331,890